



6月県議会 予算委員会

3月の知事選を挟み、2月議会で必要な事業の《骨格予算》を議決。6月議会で政策的な事業を追加する《肉付け予算》を議決するため、再度予算委員会が開かれました。

小規模農家への支援を！

川口 国も県も耕作放棄地対策の集約・集積化で大規模化を図る事業を進め、予算も付けている。しかし千葉県では生産者の8割が小規模農家であり、支援が必要ではないか。

県 小規模農家も重要であり、支援していく。

川口 戸別所得補償制度の復活を求めるとともに、小規模農家への県独自の支援を要望する。

また、農地集約・集積化で、有機農業への影響はどうか？

県 引き続き有機農業推進計画に基づき、取組み面積の増大に取り組む。

川口 温暖化が進み、2030年にはコメの収量は30%減る見込み。高温障害に強い千葉県産のふさおとめ、ふさこがねの作付けを増やすべきではないか？

県 両品種を普及するとともに、他品種でも高温に耐えられるよう、品種改良に努める。

川口 農地の上で太陽光発電するソーラーシェアリングは、30センチ幅のパネルでは、コメの収量と1等米の比率が5%増加したという実験結果もある。高温対策として有効であり、進めべきと考えるがどうか。

県 収量が低下する事例もあり、今後情報収集していく。

次世代型太陽電池 ペロブスカイト

県有施設に、次世代型のペロブスカイト太陽電池を設置するモデル事業 5000万円。

ペロブスカイト太陽電池は、従来のシリコン系太陽電池より発電効率が良く、曇りでも良く発電し、軽く曲げやすいため、丸い屋根や柱など、さまざまな形状の場所に取り付けられます。

ペロブスカイトとは、特定の結晶構造を持つ化学物質の総称で、主な原料はヨウ素と鉛です。

ヨウ素の国内生産量の80%を産出する千葉県の優位性を活かし、本格的に普及推進するよう求めました。



6/16 予算委員会で質問



▲市民ネットワーク千葉県の「おひさま発電所」近くにあるペロブスカイト実証実験場

メガソーラーは大規模に環境を破壊するため問題ですが、ソーラーシェアリングは、作物を作る農地の上で発電し、耕作放棄地も解消できるなど、一石二鳥・三鳥の方式。太陽光を一定程度遮るため、作物の収量や品質が向上した実験結果もあります。

下総基地 PFAS 汚染 最新情報

昨年、下総基地周辺の水路や民家の井戸から、高い濃度のPFAS(有機フッ素化合物)が検出され、基地で使われた泡消火剤が汚染源ではないかと、議会で追及。

県と基地周辺の3市(柏市・鎌ヶ谷市・白井市)と共に基地内の水質検査を要請したところ、今年3月実現し、基地内の排水口2か所で高濃度のPFASが検出されました。私達は3月31日に基地内を視察し、排水口が、基地周辺の高濃度の水路や井戸と繋がっている可能性が高いことを確信しました。

防衛省と2度の意見交換

1度目の4月21日、防衛省は「基地内の排水と、外の水路や井戸の汚染との因果関係は不明」の一点張り。千葉県が、「水路の汚染の原因のひとつは基地からの排水と考えられる」とホームページに明記しているにも関わらず、です。

そこで、6月30日、2度目の意見交換を行いました。基地はまたも因果関係を認めませんでした。しかし、汚染水流出防止対策を業者に委託することが決まった等、進展がありました。今後も粘り強く交渉していきます。



6月30日、防衛省との意見交換。福島みずほ参議院議員他12名が参加。

6月2日、基地周辺の、高濃度が検出された水路付近で。↓



障害を持つすべての生徒に合理的配慮を！

6月県議会に、「授業料減免」について判断を求められる案件が出ました。

県立高校に入学した障害を持つ生徒が、高校側からの「合理的配慮」が受けられず、1年生で単位を落とし、留年。結局、4年間で卒業しました。

最初の3年間は高校無償化で授業料は免除。4年目に授業料が発生したため、千葉県の「授業料減免制度」での「減免」を申請しましたが、わずか3日で却下。世帯の所得が基準を超えているという理由です。父親が病気で働けず、兄の大学進学のための学費で経済的に困難であるとの申立書を同封したのに、学校はきちんと調査したのでしょうか。生徒側はこの判断を不服として、県に申し立てをしましたが、棄却となりました。

しかし、そもそも留年の原因は、「合理的配慮」をしなかった高校にあります。しかも「合理的配慮は生徒を特別扱いすることになる」として、転校を促してさえいたのです。ほとんどの議員が「減免規定」の基準を根拠に「却下」はやむを得ないとした中、私は、生徒に寄り添った教育の必要性を訴え、「却下」に反対し、討論を行いました。

こちらから録画がご覧いただけます(3分頃から)↑

西志津 勝田台4号踏切の安全対策を

国道296号から勝田台4号踏切までの道路で、朝7時～8時の車両通行止め規制を4月始業式から開始しましたが、無理やり通行しようとする運転手がいるため、県警に安全対策を求めました。

【県警】引き続き、見える場所に警察官を配置し、交通指導取締りを実施する。道路管理者(市)に立て看板の設置を依頼。今後も関係機関等と連携して、安全対策に取り組んでいく。



水源地を守ろう！

署名にご協力を。8/31×

君津市の水源地に建つ産廃処分場は13年前に汚染水漏洩を起こし、未だ改善されていません。住民が反対する中、2期、3期と次々増設。現在、4期目の申請が県に出ています。

これ以上の環境汚染を防ぐため、許可しないことを県に求める署名にご協力ください。



署名用紙